

県立安芸津病院広報誌

四季だより 冬号 2018年1月 (第69号)

新年のご挨拶 院長 濱中喜晴



謹んで新春の
およろこびを
申し上げます
本年が新たな
希望に満ちた
年になりますよう
心より祈っております



県立安芸津病院は「地域に密着した病院」を目指して、頑張っています。

1. 「地域に密着した病院」とは、病院での入院治療だけでなく、退院後も地域で安心して生活できるように、地域の医療機関や福祉・行政などの皆さんと協力して、在宅療養を支援していく病院です。入院したときから、退院後の生活を目指して準備を始めています。住み慣れた地域で望む生活ができるように、地域の力を活用できるように、準備を行います。
2. 「地域に密着した病院」とは、地域の医療機関や福祉施設で療養を行っているときに、急に調子が悪くなったら、すぐに必要な救急医療や入院治療を行う病院です。安芸津・竹原地区の救急医療は安芸津病院・安田病院・馬場病院が輪番制で二次救急当番を行っていますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。
3. 「地域に密着した病院」とは、「健康長寿」の地域づくりを支援する病院です。医療公開講座や地域の催しへの参加を通じて、転倒予防体操の普及や健康に対する意識向上を図っています。検診（健診）を受けていただくように、皆様に働きかけ、胃や大腸の内視鏡検査などによる病気の早期発見にも努めています。

昨年は外来の中央採血システムや整形外科の手術日の設定を行いました。外来の待ち時間の短縮や、安心して診察が受けられるようなシステムづくりを、今年も考えていきますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

地域包括ケアシステムの充実を図るため、今年も訪問看護・訪問リハビリ・訪問診療などの在宅療養支援を、ますます推進していくことにしております。住みよい環境を作っていくように、皆様と一緒に頑張っていきたいと思っています。

県立安芸津病院は、身近で気軽に「何でも相談できる医療機関」となれるように、今年も一つ一つ取り組んでまいりますので、皆様のご指導・ご支援をよろしくお願い申し上げます。



新年のご挨拶 看護師長

外来担当師長になり3年が過ぎようとしています。昨年は外来部門が大きく変わり、中央受付・中央採血・点滴室への変更、さらに内科診察の中待合を廃止しました。その過程においては、患者さまに大変混乱とご迷惑をおかけしました。やっと軌道に乗り始めたところで、皆様のご協力に大変感謝しています。今後も外来は地域や在宅療養とのつながりをさらに密にし、少しでも患者さまや地域の皆様が望む医療をチーム一丸となって頑張っていきたいと思います。今年も感謝・思いやり・あきらめない気持ちを持って看護していきたいと思っています。

地域医療連携室では、地域の皆様の困りごとなど多方面において相談・支援・助言などをさせていただきます。他の病院への受診時、安心して受診していただけるよう、他の病院や施設などと連携を行ってまいります。又、入院された場合は、訪問看護やケアマネージャの方と連携を行い希望される場所で安心して暮らせる様、お手伝いをさせていただきます。本年は成年です。日本では、盲導犬を始め災害現場での捜索や救助・アニマルセラピーなどいろいろな方面でワンちゃんが活躍しています。私たちもワンちゃんに負けないように、皆様を支え・守り、時には癒しの存在になれるよう努めます。この1年、皆様が1日でも多く笑顔で過ごされますように“ワン”ダブルな1年でありますよう



に心よりお祈りいたします。(o^)/

地域医療連携室
小林 登喜子



私は、箱根駅伝を観るのが好きです。どこの大学を応援するというわけではなく、そこに何かしらドラマがあるからです。以前どこかの監督が一人のスーパーエースを育てても優勝できない、その区間で自分の役割を一人ひとりが果たすことで優勝できると言われていました。集団で取り組むことに一人ひとりが全力を注ぐ、これがチームワークを生むのです。看護も「チームワーク」だと思っています。患者さまやご家族に寄り添い、さりげない心遣いで安心して入院生活が送れるような看護を実践できるよう、日々、看護師一人ひとりが努力を重ねています。病棟全体、チーム間での連携や情報共有に努め、安全で質の高い看護を実践していけるよう、スタッフ全員でいつでもお互いに助け合える協力体制の良い病棟をめざしています。

4階病棟 岡 賢美
成年にあたって「大も歩けば棒にあたる」ということわざがありますね。意味は、やってみると思わぬ禍に会う。またやってみると良い事・幸いに会おうとあります。人は思いもよらず怪我をしたり病気になります。またもっと痛みのない生活を楽しまたいという希望もあります。その為、手術という人生の大イベントに立ち向かわれる患者さまに私たちは出会います。「3階病棟を歩けばご縁に出会う！」その大イベントに関わらせていただく事は「縁」でもあり、入院生活を禍とはせずその中での元気になりたいと同じ目標を持つ患者さまと医療者との縁を良い事や幸いとしていただきたいと思います。その中の一員として私たちは「元気になりたい」「歩けるようになりたい」という一人ひとりの思いを大事にしています。そのために、3階病棟全員で皆様の希望を叶えられるように看護を実践し、達成できるように寄り添ってまいります。



3階病棟 内山 早苗